

南アルプス市ふるさと人物室

山梨県 南アルプス市立中央図書館

基本データ

所在地	山梨県南アルプス市 小笠原 1060-1
職員数	14 人
うち司書数	11 人
蔵書数	142,458 冊
利用登録者数	24,795 人
年間貸出冊数	194,598 冊
(児童用図書貸出数 64,601 冊)	

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】複合化、空間づくり

【活動のねらい】

- 南アルプス市では、「まちづくり」「ひとづくり」の一環として、地域資源や伝統文化を活かしたふるさと教育(郷土教育)の推進を図っている。
- そのひとつとして、「南アルプス市ふるさと人物室」で近代前後に活躍した南アルプス市ゆかりの人々を紹介する展示を行い、市民にふるさとの魅力を再発見していただくことを目的に設置された。

取組・活動の概要

- 平成 28 年 10 月 1 日、図書館の大規模改修に伴い「南アルプス市ふるさと人物室」としてオープンした。市民にふるさとを愛する心や誇りを再発見していただくことを目的に、近代に活躍した南アルプス市にゆかりのある人物を 17 人紹介する。
- これまでに建築家・内藤多仲氏、外交官・埴原正直氏、政治家・石橋湛山氏、俳人・福田甲子雄氏、実業家・若尾逸平氏、郷土史家・功刀亀内氏、愛育の母・矢崎きみよ氏の展示を行った。



南アルプス市ふるさと人物室入口

- 運営については運営委員会を設置し協議で決定、図書館が中心となり調査をすすめ、展示、講演会を行っている。図書館で所蔵している貴重な資料を活かしながら、市民に広く紹介する新たなスペースとなっている。

取組・活動の工夫や特徴

- 有識者をアドバイザーに迎えて、山梨県立博物館、その他県内外の施設等の協力のもと特色のある展示をしている。
- 市民にふるさとの魅力を再発見してもらえよう、地域で発掘し初公開となる資料を展示している。

取組・活動の成果や今後の展望

- 地域資料への関心は高まっておりレファレンスも増えている。
- 展示がきっかけで発見された貴重な資料もあり、地域資料の保存の一助となっている。
- 第7回展示「矢崎きみよ」では、市健康増進課と連携して展示やフォーラムを行った。今後、市立美術館等、他課とも連携をして展示を行っていく予定。



矢崎きみよ展の様子